名古屋西南ロータリークラブ
Weekly Report

安江英雄会長年度テーマ
継続は力、協力は強力
例会場　名古屋クレストンホテル　TEL　052-264-8000
例会日時　木曜日　12:30
クラブ会報広報委員長　二俣景一

2006-07 年度 R.I.会長
ウィリアム B. ボイド

承 認　1995.3.28
会 長　安江英雄
幹 事　後藤 敞

事務局　名古屋市中区栄 3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007 号
TEL　052-263-1324
FAX　052-263-0730
Email　seinan1@fancy.ocn.ne.jp
HP　http://rc.nagoya-seinan.org/

第574回例会　No. 34　平成19年3月29日(木)　晴	
■ ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ	「奉仕の理想」
■ 出席報告	会員49名中31名出席
■ 出席率	68. 89%　出席計算人数45名
■ 修正出席率	3月15日　95. 56%
■ スピーカー	加納 泉パストガバナー
■ ビジター	名古屋RC　池田浩一郎さん

会長挨拶　安江英雄

本日は「第 7 回クラブフォーラム/ 職業奉仕卓話」で、加納泉パストガバナーをお迎えしての例会です。よろしくお願い致します。
陰暦 2 月 15 日(4 月 2 日)は「湿盤会」です。仏教の開祖の釈迦が入滅された日です。釈迦は八十歳で北インドのクシナガラの地において入滅されました。釈迦が入滅される時、別れを惜しむために五十二種類の動物が集まったとされています。おもしろいのは、日本における伝承では、その集まりには猫が参加しなかったそうです。理由は十二支に猫が入っていないのと同じで、猫が一所懸命に顔を洗っていて、それで間に合わなかったそうです。又、ねずみにだまされたとする説もあります。そこで釈迦の入滅の場面を描いた混盤図には例外はありますが、猫が描かれていません。じつをいえば、日本には山猫はいましたが、家猫はいなかったそうです。
奈良時代のはじめに中国から輸入された動物だそうです。仏教の教典を遣唐使が船につんで帰ってくるわけですが、その教典がねずみに食われないように猫を乗船させてきたのです。
湿梁図に猫を描かなかったのは、昔の日本人は猫を知らなかったからかもしれません。
釈迦は、私たちは日々 、常に正しく見、正しく語り、正しく仕事をなし、正しく生活をし、正しく道(心)に精進し、正しく念じ、正しく定に入る。この八正道の実践を基本理念とし、生活する様に諭されています。

ニコBOX

●本日は職業奉仕卓話として地区年度方針の「原点回帰」について卓話をしていただきます。加納泉パストガバナー、よろしくお願い申し上げます。　後藤幹事、藤野、服部、長谷川千廣、渡邉、水野、浮貝、吉田、矢野、岩田、加藤、西川、磯部、森(敬称略)

安江会長　職業奉仕卓話として加納泉パストガバナーをお招き致しました。よろしくお願い致します。	
大平職業奉仕委員長　加納パストガバナーにご指導宜しくお願いします。ご多忙の中、厚く御礼申し上げます。	
●名古屋も「開花宣言」が出て、お花見が楽しみですね！でも、まだまだ花粉が多いのでご用心！ 日下、丸山、後藤晋児、二俣、近藤、林(敬称略)	
本日合計　46, 000円	

職業奉仕卓話
「原点回帰　＝その精神を受け継いで＝」

第 2760 地区パストガバナー　**加納 泉**

◎原稿は次号に掲載させて頂きます。

委員会報告

●ロータリー財団　委員長　河原照忠
「100 万ドル例会報告報告」
本日は 100 万ドル例会ですので、下記の通りロータリー財団に寄付いたします。
1,000 円 × 31 名(出席者数) ＝ 31,000 円

Rotary International WEB Site より抜粋
2006-07 年度 RI 会長メッセージ 4月
「環境問題を考える」

環境という言葉は、私たちそれぞれに違ったものを思い起こさせます。ある人は緑に覆われた森林、大海原、それに山並みを、またある人は草原や野生生物たちのことを考えるでしょう。私たちが環境的な挑戦に思いをはせるとき、リサイクルだとかエネルギーの節減、産業廃棄物や気象の変化について考えるかもしれません。私たちは問題を、自分自身の個人的な問題ではなく、はるかに大きいものとしてとらえる傾向があり、非常に抽象的なも

のとして、見ることもあります。

世界中の家族に影響を及ぼす環境問題

しかし、私たち一人ひとりにとって、環境とは、文字通り私たちが息をする空気、飲む水、歩く地面のように、自分たちを取り巻いているものなのです。私たちの環境とは、家であり、庭であり、道なのです。地域社会であり、国であり、惑星なのです。何百マイルも離れたところの清らかな水の流れは、私たちの蛇口につながっています。遠くの街のきれいな空気が私たちの肺に入り、何らかの影響を与えます。そして、私たちの車、煙突、発電所から排出されるものは、私たち自身の家族だけでなく、次世代の世界中の家族に影響を及ぼします。

環境問題はまさに地域的なものであると同時に、完全に地球規模の問題でもあるのです。ゴミでいっぱいの川の流れは、飲み水をその川に頼っている人々に最も大きな影響を及ぼしますが、生態系そのものを損ねます。公害のひどい街は、その街の住民だけでなく、風下の遠く離れた人々の健康をも同様に蝕みます。

気象変化について学習し、理解を深めるほど、地域的な解決策など存在しないことを、私たちははっきりと認識するようになります。私たちがすることのすべてはほかにも関連しているのです。

小さな変化が大きな変化を生む

私たちが環境問題への取り組みとして、何をしたいのか、何を変えたいのかを考える際、私たちの決定が、決して私たち自身にかかわるだけのものではないことを覚えておかなければなりません。

ロータリーで学ぶことの一つは、一人の人間でも変えることができるということです。私たちはクラブで、地区で、特にポリオ・プラスを通じて、そのことを見てきています。私たちがほんのわずかの人々を援助するだけの小さなプロジェクトで働いていては、自分たちがどれだけ世界を変えつつあるのかを客観的に知ることは困難です。

一枚の新聞紙や一つのプラスチック容器のリサイクル、車に乗らずに歩く、節水といった行動が、どのくらいより良く、どのくらいより健康的な将来をもたらすことができるかを知るのは難しいかもしれません。でも、もし多くの人々がそれを一緒に行えば、そういった小さな変化が、私たちの子どもや孫の時代には大きな変化を生み出すことになるでしょう。

実例を示し先頭を切る

ロータリアンとして、私たちは、個人的な、個々の選択に基づく小さな変化が、すばらしい何かへと積み上げられていく現実をよく知っています。私たちが行う決定は小さなことのように思えるかもしれません。でも、そんなものではないのです。私は皆さん方一人ひとりにそのことを心に留めておいていただきたいのです。というのは、あなた方は地域社会のリーダーだからです。よりよい未来のため「率先しよう」という活動を助けるために選ばれているからなのです。

環境責任に関しても、より健康的な明日をもたらす選択肢をつくりあげるという実例を示すことで、私たちはほかの問題と同様に、先頭を切らなければならないのです。

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL　WILLIAM B. BOYD

ガバナー月信3月号より抜粋
パストガバナーメッセージ
「例会出席について」

国際ロータリー2760 地区パストガバナー神戸政治

私は1970 年7月にクラブのチャーターメンバーの一人に熱心に誘われて、あまロータリークラブに入会しました。当初は比較的簡単に考えており、万一出席するのが不可能になったり、嫌になったら退会すれば良いくらいにしか思っておりませんでした。

例会及びその他の会合を欠席することは大変重要な意味を持つものであることを、恥ずかしながら暫らく経ってから痛切に感ずるようになりました。

その想いは地区ガバナーを拝命して以来、益々頑固になってきたと思います。最近のことでありますが、当地区の田中P.G. がご自分のクラブを退会されました。その理由はクラブに出席できなくなった（ご自身の健康上の理由で）からである。“ロータリーとは出席である”ロータリーに迷惑を掛けたくないとの信念からであります。

田中 P.G. は私共の先輩であり、この態度は敬服そのものでありました。果たして、自分自身が同じような立場になったとき、いろいろな事を考えると決断可能か否か深く考えさせられることでありました。例会などの出席について私は次のように考えております。

あまり厳しく例会出席を言うと退会者が増加しないか、入会希望者が減少しないか、などなどのご意見をお聞き致します。然しよく考えてみますと入会の際、週に一回決められた会場の例会に出席すると約束されたのではなかったでしょうか。メーキャップする手段も有るはずなのに、自身の仕事が急に増えたのでしょうか。それともロータリーに失望した結果でしょうか。

ロータリーでは例会出席率が下がると退会者が増加すると云われており、出席率はクラブ活性のバロメーターとも云われております。

同じように途中退席も、高い入場料を払って入った音楽会を半分聴いて出てくるようなもので勿体ないと思います。

私共の会合は毎週の例会だけでなく、クラブフォーラム、クラブアッセンブリー、地区アッセンブリー、地区大会など沢山ありますから、出来るだけ多くの会合に出席しようではありませんか。“ロータリーとはまず出席、学んで後奉仕”と私は考えております。

ロータリアンの義務と責任についてひとこと。

自己の職業分野に対する義務と責任、もう一つは社会に対する義務と責任であります。私共はロータリーの思想と理想を学び、他人に対する思いやりの精神を実現し、自身の職業分野では劣悪な思想や商法をやめ、正しい倫理基準に基づいた行動が必要と説いたガイ・ガンディーの言葉は今も新しい。

☆☆次回例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

4月12日（木）　第576例会変更

「ふれあい例会　＝イルカ作業所の皆さんと共に＝」

ブルーボネットにて　11:00～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆